

日本ルネッサンス



中国に自民・民主共同で対処せよ

日本の海洋権益をどのように守っていくか問題は、日本の海に侵入してくる中国との摩擦をどう乗りこえていくかにとまらず、日本国の在り方の根本を問うものだ。

自民党はすでに武見敏三参院議員を委員長として「海洋権益特別委員会」を設置。10月22日に初会を開いた。同会に先立って武見氏は「海洋権益を守るための9つの提言」を発表したが、その柱は海洋権益関係閣僚会議を設置して、この問題に国家の総力をあげて取り組むこととした点である。

一方、民主党もこれまでに「ネクストキヤベネット」(N.C.)の外務防衛、国土交通、経済産業の各担当大臣らが5回にわたって議論を重ね、11月30日に長島昭久・細野豪爾衆議院議員らが軸となって「我が国周

辺海域における公正な海洋秩序の構築を目指して」と題した中間報告案を出した。また、「一室」の段階だが、見るべき点は多い。

今年3月に尖閣諸島への中国7人の上陸を許してしまった点について、同案は、背景に「無人島の保護と利用に関する管理規定まで制定して我が国の領有権主張に挑戦している中国」の姿勢があると指摘している。中国人の乗った100トンクラスの船舶の動きを、日本の海上保安庁の1000トンクラスの船では小回りが利かず阻止出来なかつたという技術的な問題以前に、尖閣諸島、領海、領土という大きな問題をどう扱う視点から見ようとするべきかと問うた点で、視点が鋭い。

8月12・19日合併号の本誌でも紹介したが、中国は2003年7月1

日に「無人島の保護と利用に関する管理規定」を施行した。この法律は無人島に関する開発や利用計画を民間から募り、その内容によって中国政府が許可を与えるというものだ。ここには、東シナ海をはじめ、中国が自国の海だと主張する海域に散在する約7000の島々のうち6520余りの無人島を、グラスルーツの国民の動きを利用する形で中国の実効支配を固めていく狙いがこめられている。中国も、いま尖閣諸島を軍事力で日本から奪い取るこの愚は知悉している。だからこそ、軍事力ではなく、国民や企業などの、民間の力を使おうというのだ。対して日本政府は尖閣諸島を実効支配していないなら、その実、何の手も打っていない。尖閣諸島は実態として空き家に近い形で放置され、必要な防護体制は敷かれてこなかった。中国側にしては、極めて入り易い状況が続いているわけだ。

92年に重なる懸

その同じ年、中国政府が尖閣諸島をはじめとする中国の海洋権益を守ることを中国海軍の重要な使命であるとの指示を出したのは周知のとおりだ。中国が多大な予算を注ぎ込んで育ててきた海軍力と海軍人は、尖閣を守るために命を賭して戦えと言っているわけだ。

日本はここから、大いに怒らなければならなかつた。なぜなら、これら一連の決定はそれぞれわずか14年前の、約束が反占にされたことを

長島氏はその点を指摘し、尖閣諸島への中国人の上陸は中国政府の黙認の下に行われたと見るべきであり、今後も「増加すると予想した。日中関係、とりわけ尖閣をめぐる動きについては、日本側が忘れてはならないのは1992年の一連の事柄だ。この年に中国は領海法という国内法を定めて尖閣諸島を中国の領土だと宣言、以東尖閣諸島を中国領として描いた地図で、中国の子供たちや国民を教育してきた。中国の若者たちが尖閣は中国の領土だと信じ、同島への領有権を主張する日本人を心底憎む背景には歴史の事実に対することを教えてきた中国政府の教育に責任がある。

意味するからだ。14年前の1978年、日本は中国と平和友好条約を結んだ。同条約締結を機に、日本の中国への経済援助は本格化したが、その条約締結の際に、日本は尖閣問題はずっと先まで棚上げされることを考えた。理由は、尖閣問題はすぐに解決出来なくても、子や孫の世代に平和的な話し合いを通して解決すればよいという算ず平発言があつたからだ。日本側は中国の主張を顔面どおりに受けとめたが、中国は一方的に領海法を定めて、法律上、尖閣を奪つた。これが92年だった。

このことだけでも承服し難いが、さらに衝撃的なのが、日本国政府と外務省の対応だった。この年、政府は、わが国外交の最大の切り札といえる天皇皇后両陛下の中国御訪問を実現させてしまったのだ。

怒るべきときに怒らず、平和と友好の証としての皇室外交を、選りこぼしてその年に展開してしまった外交判断の愚かさを忘れてはならないだろう。現在の日中関係での屈辱の92年を繰り返してはならないのだ。

民主党の案は、怒るべきときには怒りつつ、国際法を守りながら真つ当な主張を展開するという点で重要な提言を含んでいる。たとえば、11月10日に明らかになった中国の原子力潜水艦の動きの分析と対処である。潜水艦の行動は、日本の海洋資源は無論のこと、台湾の併呑を頭脳に置いて中国の大戦略の一部として以下のように分析された。